

日本聖公会 神戸教区報

神のおとずれ

2016年
8・9月号発行所
神戸教区事務所
TEL 078(351)5469
FAX 078(382)1095
<http://www.nskk.org/kobe/>発行責任者
司祭 芳我秀一印刷所
文明堂印刷所神様のお恵みは
当たり前? いや有り難し!

司祭 ミカエル 杉野 達也

数年前に流行りました、
当たり前体操。「右足を出して、左足を出
す…歩ける! 当たり前体
操」これは、私達の日常の中
にある当たり前にあること
を体操にしたギャグです。
私達の生活は、スイッチを
入れれば電気がつき、蛇口
をひねれば水が出て、ボタン一つでお湯が出ます。最
近では、わからないことが
あれば、すぐスマホで調べ
ることが出来ます。大変便
利な世の中になりました。
しかし、便利になり、与え
られているものが多すぎる
と、あることが当たり前前
のように感じ、お恵みもお恵
みとして受け取れなくなっ
てしまいます。狭い戸口から入るように
努めなさいある人がイエス様に尋ね
ました、「主よ、救われる者
は少ないのでしょうか」。こ
の問題は私達の多くが持つ
問いです。それに対してイエス様は「狭い戸口から入
るように努めなさい」と言
われます。では、イエス様
の言われる戸口の「狭さ」や、
その狭さから入るように「努
める」とは、どういうこと
なのでしょう?イエス様が語るこの戸口
の狭さは、「誰も私を通らな
ければ父のもとに行くこと
はできない」と言われてい
るように、私たちの救いが
ただイエス様にある、とい
う狭さです。その後、イエス様は戸口
から入れなかった者たちの
ことについて語られます。
彼らはどうして入れなかつ
たのでしょうか。一言で言
えば気がつくのが遅すぎた
のです。そんな彼らは「不義」
を行う者と言われます。こ
こでの「不義」とは、罪を
犯したとか、何か悪いこと
を行ったということではあ
りません。イエス様のお話
を聞いている人々は、アブラハム、イサク、ヤコブの
子孫であるユダヤ人だった
のです。彼らは「すべての
預言者たち」の言葉を聞いて
いた、神様と特別親しい
神の民だったのです。そこ
ろが戸口から入れなかった
者たちは、十分に神様の恵
みを知らされていたのに、その恵みの豊かさをまっす
ぐに受け止めなかったのだ
です。それは、恵みがあるのに
、ただなかなかというこ
とです。神様から与えられ
たお恵みも当たり前だと感
じると、感謝することもし
なくなり、お恵みをお
恵みとして受け取ろうとし
ないならば、それはもはや
「恵み」でなく、恵みを歪め
る「不義」になってしま
うのです。

ありがたうの意味

「当たり前」の反対語は「あ
りがたう」です。「ありがたう」
は、「有り難う」と書きます。
この言葉は「有ることが難
しい」という意味です。歩
けること、朝が来ること、
食事が与えられていること、
働けること、学べること、
電気があること、水がある
こと…このような私たちの日常の毎日は、当たり前前
のことではなく、あることが
難しいことなのです。これ
らのことは、神様が私たち
に与えてくださったているお
恵みであり、感謝するべき
ことなのです。

私たちが努めること

私たちは狭い戸口から入
るように努めなければいけ
ません。「努める」とは、自
分自身に対する日常的な努
力や鍛錬を意味する言葉で
す。私たちは神様からたく
さんのことを与えられてい
るのに、与えられているこ
との有り難みを忘れ、ある
ことが当然の様に感じてし
まいます。そのように感じ
てしまう自分自身と常に向
き合うように努めなければ
いけません。イエス様は私
たち一人ひとりに狭い戸口
を通してみ国に入るように
招いて下さっています。そ
んなイエス様の招きに応え、
自分自身と常に向き合い、
日々与えられている神様に
感謝の心を持って、救いに
与る者になりたいものです。

(松江基督教会牧師、

米子聖ニコラス教会副牧師、

境復活教会管理牧師)

日本聖公会総会 第62定期総会開催 〜祈祷書改正決定〜

去る6月2日(木)〜4日

(土)に総会が行われました。今回の総会議案の特筆事項は、祈祷書の改正です。祈祷書の改正は、聖公会にとって、とても重要な決定ですので、慎重に進められ、2回の総会での同意を必要とします。

具体的には、堅信前に陪餐を可能にするもので、2年前の総会で協賛を得ましたので、今回の決議で正式に決定となりました。

洗礼というイエス様の直接定められた聖奠の十全性を明確にするため、堅信を受けることを、聖餐を受けるための必要条件としないという意図です。

祈祷書の「堅信を受けた者、またその準備を終えて主教から特別の許可を受けた者は、陪餐することができる」という文言が削除され、「洗礼を受けた者は陪餐

することができるとい文章が加えられます。

ただ、これまでの慣習とは大きく変わりますので、混乱をきたさないよう、実施に当たっては十分な準備が必要になります。

ただ「洗礼を受けた者」は陪餐を受けることができるといっても、実際には、ご聖体を受ける意味が分かる年齢が目安とされます。そのため、詳細については、主教会より教書が秋ごろに出される予定で、ガイドラインも作られます。

子ども用のテキストも、児童文学者の協力を得て作成中という報告もありました。

またこれに伴い、法憲法規にある受聖餐者という言葉も堅信受領者と改められます。

教会の運営にかかわる信徒については、従来どおり主教様からの堅信を受け、聖霊によって強められた者ということを確認にするためです。

このことは、教会の統計とも関係することですので、

実施は早くとも来年の1月1日となります。

また、この総会で、祈祷書改正委員会が設置されました。前回の総会で祈祷書改正委員会が設立され、2年の準備を経て、本格的な改正作業に入ります。

スケジュールとしては、2022年の総会での協賛を得て、2024年に内容を確定し、発行される見込みです。

(代議員司祭上原信幸)

九州地震 ボランティア報告 熊本聖三一 ボランティアセンター

4月14日と16日の2回に

わたって大きな地震が九州地方、特に熊本県・大分県に被害をもたらしました。九州教区は被災者支援室を立ち上げ、熊本聖三一教会を拠点にしてボランティアセンターを設立し、被災者支援の活動を開始しました。

この動きを受けて中村教

区主教は「神戸教区は九州教区の活動を支援する」と公表され、私が現地視察の後、5月9日から17日間の九州教区への派遣をさせていただきます。

ボランティアセンターの働きは、被災された教会信徒から依頼があった自宅の片づけや瓦礫の撤去などを行います。また、大きな被害を受けた益城町では倒壊した家屋の横でテントや車、ビニールハウスなどで生活されておられる被災者の人々を探し出して、一人ひとりに必要な物資や情報などを提供し、併せてキッチンボランティアさんの手作りおかずを宅配しながら、苦しい気持ちを少しでも楽にしたいためにお話に耳を傾けます。



被災地で「遠くから来てくれたボランティアの人に会おうとありがたくて涙がでます」と言ってくださる被災者の言葉は、小さな働きでも困難の中にある人々を支えたい、神さまは、この人たちと共にいてくださるということに改めて気づかされます。



皆さんのお気持ちさえあれば、どなたでもできるボランティア活動をを行うことができますので、ご理解とご協力をお願いいたします。詳しくは、九州教区のホームページ「九州地震被災者支援室」をご覧ください。こちらを参考にしてください。
(<https://www.facebook.com/koritsusasenai/>)

(社会部長司祭瀬山会治)

英国通信

司祭 奥賀田 光嗣

英国に来て二ヶ月ほどが経ちました。

その間に、聖霊降臨日などを過ごすことができませんでした。日本の教会では、聖霊降臨日はちよつとわかりにくい日かもしれません。と、いいいますのも、クリスマス、のクリブや、イースター前の棕櫚の十字架のような、目に見える象徴がありません。受けられないということも一因でしょう。では、ヨーロッパの聖霊降臨日はどうか、ということです。



以前より、知識の上では、イタリアやポーランドの教会では、聖霊降臨日に祭壇の周りに薔薇を撒いたりすることは知っていました。

私が顔を出した近所のイギリスの教会では、その日、赤色の服で着飾る方が多くいました。礼拝中にベスト赤色ドレッサー賞が決められたりという盛り上がりもありました。また、礼拝中に、各自に配られたキャンドルに火が灯され、聖卓の周りに捧げられます。



聖霊降臨日の前には、フラワーフェスティバルというものが開かれ、聖堂の中がフラワーアレンジメントで一杯になります。聖堂の中には様々な守護聖人の像が置かれ、各聖人にちなんだモチーフとお花が飾られます。たとえば、漁師の守護聖人ですと、漁の網がモチーフで置かれる、といった具合です。

このように、教会の再活性化のため、様々な活動が

行われています。

「聖堂は開いているので誰でもどうぞ」という立て看板を道路に置く教会もあります。目を引くのは、幾人かの信徒が傾聴カウンセリング等の資格を取り、信徒のグループが信徒の役割(王職Ⅱ王であるイエス様のよう仕えるということ)として牧会訪問をする、ということでしょうか。また、こちらの教会のことなどをお伝えできたらと思います。

EU離脱と英国聖公会

イギリスは今、揺れています。日本の皆さんもご存じの通り、EU離脱/残留の選挙が行われたからです。離脱派、残留派の大まかな支持層は、地方在住/都市圏在住、貧困層/富裕層、低学歴/高学歴、高齢者/若年層などなど、様々なファクターで分析することがなされています。この分析の是非はともかく、イギリス国民の間に、分裂がある、ということには確かです。

この分裂は、単に国民の支持政党などのみに至りま

せん。イギリスは、連合王国(United Kingdom)として、イングランド、スコットランド、ウェールズ、北アイルランドなどから成り立つ国家です。その内の、スコットランド、ウェールズ、北アイルランドが、なんとEU残留、連合王国からの離脱を表明しています。

このような状況において、英国国教会である英国聖公会では、選挙開票後すぐの6月24日に、ホームページ上で大主教の連名による声明と、礼拝の中で使うようにとの特待と連待が発表されました。それは、国民投票が終わった後、人々が分裂しないように、互いを憎まないように、共に歩むように、との声明と祈りです。

投票直前に、残留派の女性国会議員が、離脱派の手によって殺害されたのも記憶に新しいことでしょう。犯人は、極右政党支持者で、極右政党名「Britain First」を叫んでいました。また、この極右政党のスローガンが「イギリスを取り戻す」ということに薄ら寒いものを感じます。彼女の葬儀は、国教会のプリストルの聖ペト

ロ教会で行われましたが、そこには、宗教を問わず、イスラームの人々も集まり、その死を悼みました。しかしながら、投票後、各地で移民排斥のヘイトクライム(人種、民族、宗教などへの偏見、差別感情が原因で起こる犯罪)が起りました。投票前と比べ、57%以上もヘイトクライムが増加しています。その対象は、黒人、ポーランド系移民、ムスリムなど、枚挙に暇がありません。

6月29日には、英国国教会として、カンタベリーの大主教と指導者層からの差別への非難が出されました。のみならず、英国の宗教的指導者、カンタベリーの大主教、ローマ・カトリックのウエストミンスターの大司教、ユダヤ教のラビ、イスラームのイマームたち(指導者)たちからも非難声明が出されています。

私たちは各々の宗教的立場を尊重しながら、分裂ではなく和解の道を祈り求めねばなりません。和解の歩みを決して止めてはならないのです。

(立教英国学院チャブレン)

神戸教区宣教140周年記念

コンサート特集

J・グレゴリー氏研修会

コンサートに参加して

マリア 福島 薫

去る6月4日(土)、神戸聖ミカエル大聖堂において、日本聖公会神戸教区宣教140周年記念行事の第1弾として、J・グレゴリー氏によるパイプオルガン研修会およびコンサートが行われました。



研修会は受講生6名、聴講生は13名でしたが、神戸教区の信徒だけでなく、大

阪教区からもご参加くださいました。また神戸教区からでも神戸近辺だけではなく、広島、岡山、米子といった遠方からもお越しください、盛況な会と相成りました。

課題曲は日本聖公会「聖歌集」316番と240番の2曲のうち1曲とグレゴリー先生が指定なさった奏楽曲から1曲を選んで弾くというものでした。

さて、肝心のレッスンですが、正直な感想を言うと、先生のレッスンを受けるには、私ごときのレベルではまだまだで、先生に申し訳なかったな...というものでした。言うなれば幼稚園児が大学教授の授業を受けている...そんな感じでした。しかし、先生がおっしゃっていた「もつとメロディを歌わせて弾くこと」「きちんとしたテンポで弾くこと」「アーティキュレーション(音と音のつながりに様々な強弱や表情をつけることで旋

律などを区分すること)」をすっかり頭に入れて練習していこうと固く心に誓いました。

17時から行われたコンサートは、招待客も含め、予想を超える182名の入場者数でした。正直言って、レッスンでヘトヘトでしたが、先生の素敵な演奏で心癒されるひとときを過ごしました。

(パイプオルガン委員・神戸聖ヘテロ教会信徒)

こどものための

記念コンサート

ルツ 原田 里香子

6月14日(火) 宣教140周年記念行事として「MAKI & LILLY」による歌とピアノ・こどものための記念コンサートが神戸聖ミカエル大聖堂で行われ、神戸市内の聖公会関連の2つの幼稚園と8つの認定こども園の園児が集まりました。

初めに、聖ニコラス天使園・芝雅子先生の司式、聖ミカエル教会オルガニスト・伊藤純子姉の奏楽で礼拝が捧

げられ、冒頭聖歌363番「ガラリヤの風かおる丘」では総勢370人の子ども達の素直で澄み切った声の斉唱が聖堂に響き渡りました。

MAKI & LILLYは、大阪教区・聖パウロ教会のオルガニスト・坂本真紀さん(キーボード)と奈良キリスト兄弟団の信徒で、教区聖歌隊の指導者・喜多ゆりさん(ヴォーカル)のユニットです。お二人はゴスペル、ポップスからクラシックまで幅広いジャンルの歌で教会を中心として演奏活動を展開しておられます。



コンサート1曲目は子ども達が大好きなアニメソング「となりのトトロ」、最初

は小さな声で口ずさんでいた彼らですが、アツという間に大合唱に。曲は童謡、オペラのアリア、こどものゴスペルと続き、皆一緒になって大きな声で歌い、楽しさのあまり椅子から立ち上がって踊り出す子もいたほどでした。引率の先生方や同席の大人40人も手拍子しながら一緒に歌って楽しみました。

140年前神戸の地に蒔かれた宣教の種は実を結び、聖堂いっぱいの子ども達が共に祈り、聖歌を歌い、「ハレルヤ!」と大合唱で賛美する事ができました。50年後、参加した子どもがすっかり大人になった頃どのような礼拝が捧げられるのでしょうか? 今私たちに手にある宣教のバトンを、次世代へと確実に手渡したいと願います。

9月22日(祝・木)の宣教140周年記念礼拝でもMAKI & LILLYの歌が聴けます。

(宣教140周年記念

事業実行委員会

イベント部門担当

6月8日から10日まで、山口県の西長門で行われた三教区合同教役者会が行われました。今年の教役者会には、神戸・九州・沖縄の三教区合同で行われたこともあり、中心テーマとして三

～神戸・九州・沖縄教区合同教役者修養会～



教区間の協働の可能性について話し合われました。沖縄週間、広島・長崎の平和礼拝への参加、被災地への支援、教区聖職試験など、三教区での協力について、意見や、それぞれの教区内で行われている宣教活動の分かち合いなどを行うことで、様々な形での可能性を探ることが出来ました。しかし、同時にそれぞれの教区が大切にしている歴史・伝統、文化、土地・環境、状況などのアイデンティティーは無視できず、協働に限界があることもまた分かち合われました。

三教区間の協働の可能性としては、今年度の9月頃に各教区から二人を選出し、継続して話し合いの場が持たれることが決まりました。今後、現在より更に教区間の協働を広めていくためには、多くの課題が残されています。しかし、時間をかけて、まず共に出来ることを、分かち合えることをひとつずつ行い、続けていくことこそが協働宣教への確実な一歩になります。

二日目の自由時間には、萩観光へ向かう方や角島観光へ向かう方など、それぞれが有意義な時間を持つことができました。

三日間の学びと憩いの時を持つことができました恵みを、神様と教役者のために祈ってくださいる信徒の皆様には感謝致します。

(聖職候補生 遠藤洋介)

教会建築シリーズ①

徳山聖マリア教会編



皆様には、お祈りとお力添えを頂き心より感謝申し上げます。おかげさまで7月14日(木)、設計士の村越千幸子先生、工事関係者、地域の方々をお迎えして、無事に上棟式を執り行う事ができました。

今回は、貴重な紙面をいただき、増築・新築の基本設計についてご紹介させていただきます。



建築実行委員会では、建物から活動を考えるのではなく、活動から建物を考える発想を展開させました。そのきっかけは、教区宣教

協議会であり徳山の宣教協議会です。教会活動を精査し、継続する活動、新しく始めたい活動、幼稚園と共に行える活動等をまとめ、その働きにマッチする建物と設備を検討しました。

また、地域に向けて多くの方々が利用しやすい設備を心がけています。幼稚園と連携して子育て世代のサークルに利用しやすい設備、また高齢者やリハビリ中の方々が利用しやすい施設となるよう検討をすすめています。一般に言われる「多目的トイレ」(図面上ではみんなのトイレ)では、病などで人工的な排泄孔(ストーマ)を持った方々(オストメイト)対応の設備も整える予定です。

完成は11月中旬を予定しています。この事業をお祈りの内に覚えていただければ幸いです。また、目標800万円の建築募金を継続しております。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

(建築実行委員長

アンデレ田口安雄)

鳩だより
《敬称略》

祝 堅 信

7月3日(日)
ルシア 川添 遥 奈
高知聖パウロ教会

教 籍 移 動

6月13日(月)
ル ツ 末 永 壽美代
エバンゼリー 荒 川 望
北関東教区・

小山聖ミカエル教会より

6月25日(土)
ローレンス 松 坂 謙 二
浜田基督教会より

松江基督教会へ

6月30日(木)

ヨ ハ ネ 佐 野 恵
ハンナ 佐 野 眞智子
岡山聖オーガスチン教会より

日本イエス・キリスト教団

香登教会へ

7月5日(火)

ジョイス 末 永 泉
北関東教区・

水戸聖ステパノ教会より

高松聖ヤコブ教会へ

ご 逝 去

6月6日(月)

リベカ 木 村 代子姉
松江基督教会

7月3日(日)

グレース 末 崎 常 子
徳島聖テモテ教会

徳島伝道区

徳島伝道区信徒研修会のお知らせ。
9月19日(月・祝) 午前10時

から徳島インマヌエル教会で「聖書のことばとがん哲学外来」講

演会が行われます。講師は樋野興夫(ひのおきお)氏。順天堂大学医学部病理・腫瘍学教授。

参加費は無料です。お申し込みは、徳島インマヌエル教会までご連絡ください。

(0866・52・2481)

10月の教区関係教役者
逝去記念聖餐式日時 2016年10月6日(木) 午前10:30
場所 神戸聖ミカエル大聖堂
司式 主教 中村 豊
説教 司祭 原田 佳城

*10月の記念逝去教役者

1日	宣教師	キャサリン	シェパード
1日	伝道師	ヨハンナ	三浦すみ枝
5日	伝道師		南岡七重
5日	司祭	ミカエル	津田昌男
7日	司祭		牛島惣太郎
7日	司祭	ノア	チヨウ
8日	司祭	ヨハネ	坂下内匠
9日	執事	オーエン	國弘文吾
9日	宣教師	ヒルダ	ジャクソン
10日	主教	ミカエル	八代斌助
14日	司祭		永野武二郎
14日	司祭	パウロ	河合良隆
14日	執事	アントニオ	嶋田克己
15日	司祭	ハロルド	マクシェリー
16日	主教	ペテロ	松井米太郎
16日	主教	サミュエル	ヘーズレット
21日	伝道師		三浦光子
21日	司祭	オーガスチン	岡上典夫
24日	司祭	ペテロ	横田久明
28日	宣教師	レオノア	藤本与喜
29日	司祭		加藤泰秀
31日	司祭	ルカ	長門一二
31日	司祭	バルナバ	

9月の教区関係教役者
逝去記念聖餐式日時 2016年9月1日(木) 午前10:30
場所 神戸聖ミカエル大聖堂
司式 主教 中村 豊
説教 司祭 林 和広

*9月の記念逝去教役者

1日	伝道師	緒方政枝
3日	伝道師	上西八枝
4日	執事	ラザロ
9日	伝道師	布施好古
10日	司祭	ステパノ
12日	主教	ヘンリー
13日	宣教師	レティシア
16日	司祭	ウィリアム
17日	司祭	アブラハム
20日	伝道師	吉田照子
不明	宣教師	ドロシー

教区宣教140周年感謝聖餐式

(日 時) 9月22日(木・祝) 10:30
(場 所) 神戸聖ミカエル教会
(司式・説教) 主教 アンデレ 中村 豊 師

《ミニコンサート》

(日 時) 9月22日(木・祝) 12:00
(マリンバ) 内海佳子
(音楽演奏) マキ&リリー

神戸教区宣教140周年記念行事

ちいさな群れよ、恐れるな。あなたがたの父は喜んで神の国をくださる。ルカ12章32節

8/11(木・祝) 集まれ、語れ、青年たち!
9/22(木・祝) 教区日曜学校特別企画 メッセージ風車140本飾ろう!
9/22(木・祝) 10:30~ 宣教140周年感謝聖餐式
11/19(土) 15:00~ オルガン奉獻3周年記念コンサート
演奏: 松原晴美(桃山学院大学オルガニスト)
聖歌伴奏: 伊藤順子(神戸聖ミカエル教会オルガニスト)

※会場は、全て神戸聖ミカエル大聖堂

【お問い合わせ】

日本聖公会神戸教区宣教140周年記念事業委員会